

日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023

シンポジウム「いちからはじめる外来がん治療専門薬剤師への道！」

外来がん治療認定薬剤師の申請に必要な症例集積のポイント

総合メディカル（株） 学術情報部

下川 友香理

外来がん治療認定薬剤師 (APACC) の認定試験では、がん患者への薬学的介入実績の要約を 10 症例提出する必要がある。症例を円滑に作成するにあたり、「がん患者への薬学的介入実績の要約の書き方（記入例）」を手引書として当学会ホームページに掲載している。受験者はこの手引書を確認した上で受験していると思われるが、実際は不備が多くみられる。認定試験にて不合格だった症例を分析してみると、介入内容の不備が多く、ついで文の作法・体裁の不備が続く。他の不備事項についても示すため、症例作成時の自己点検の参考にしてほしい。

また、認定試験にて合格であった症例を、介入内容について、分析した。その結果、病院・薬局に関わらず共通の介入もあれば、病院・薬局それぞれの特色を反映した介入もあることがわかった。本シンポジウムではそれらの一部を紹介するため、今後症例を集積する際の参考にしてほしい。

最後に、これから外来がん治療認定薬剤師を目指す薬剤師に忘れてほしくないことは、がん患者は介入症例を書くために存在するのではないということである。日頃から外来がん薬物治療患者の支援を真摯に行い続けることで、自然と良い介入症例が生まれてくるものだと考える。医療人として、覚悟と責任を持って、がん患者としっかり向き合った成果を示していただきたい。